

茨城の工業 ～2020年工業統計調査（2019年実績）の結果（速報）から～

茨城県政策企画部統計課

商工農林グループ

1 調査の概要

工業統計調査は、明治42年に始められ、100年以上の歴史を持つ調査です。日本の工業の実態を明らかにすることを目的とし、調査の結果は、国や地方公共団体の施策立案の基礎資料や民間企業、大学など、国民生活の幅広い分野で活用され、豊かで住みよい日本を築くために役立っています。

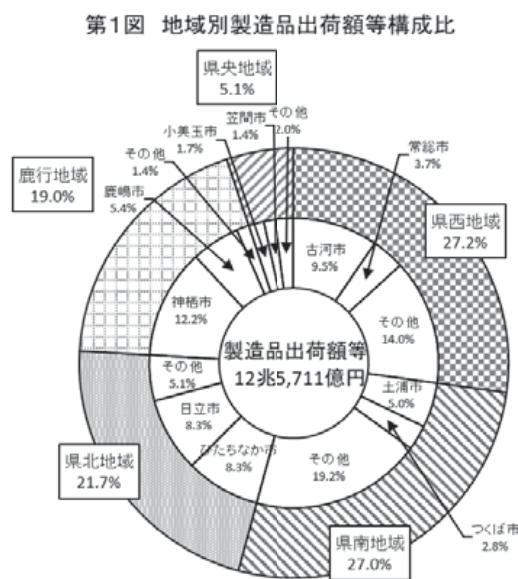
2 調査結果の概要

製造業の事業所（従業者数4人以上）を対象に令和2年6月1日現在で実施した2020年工業統計調査の結果（速報）のうち、主要項目である製造品出荷額等、事業所数、従業者数についてご紹介します。

（1）製造品出荷額等

本県の製造品出荷額等は、12兆5,711億円（対前年比△3.6%）で、全国順位は第7位となりました。

地域別にみると、県西地域3兆4,202億円（対前年比△6.7%）、県南地域3兆3,912億円（対前年比△1.3%）、県北地域2兆7,277億円（対前年比△4.1%）、鹿行地域2兆3,911億円（対前年比△2.1%）、県央地域6,410億円（対前年比△0.8%）の順となっており、全ての地域で減少しています。



市町村別では、神栖市が8年連続で第1位（1兆5,322億円）となり、次いで古河市（1兆1,978億円）、ひたちなか市（1兆467億円）の順になっています。

◆製造品出荷額等の多い市町村

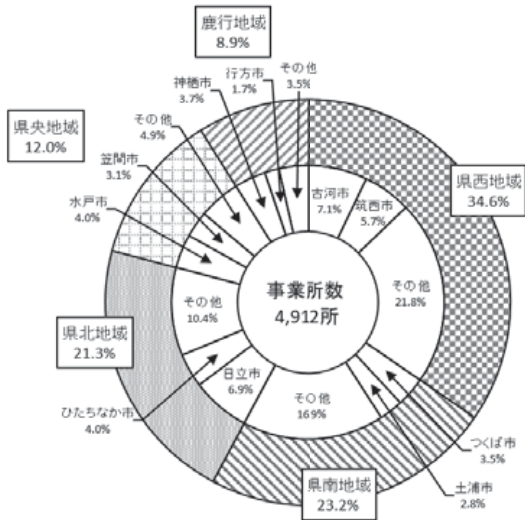
順位	茨城県	(億円)
1	神栖市	15,322
2	古河市	11,978
3	ひたちなか市	10,467
4	日立市	10,420
5	鹿嶋市	6,813

(2) 事業所数

本県の事業所数は、4,912事業所（対前年比△2.9%）で、全国順位は第12位でした。

地域別にみると、県西地域1,699事業所（対前年比△3.0%）、県南地域1,139事業所（対前年比△1.8%）、県北地域1,045事業所（対前年比△2.2%）、県央地域591事業所（対前年比△5.6%）、鹿行地域438事業所（対前年比△3.1%）の順となっており、全ての地域で減少しています。

第2図 地域別事業所数構成比



市町村別では、古河市（349事業所）が最も多く、次いで日立市（339事業所）、筑西市（279事業所）の順になっています。

◆事業所数の多い市区町村

(事業所)

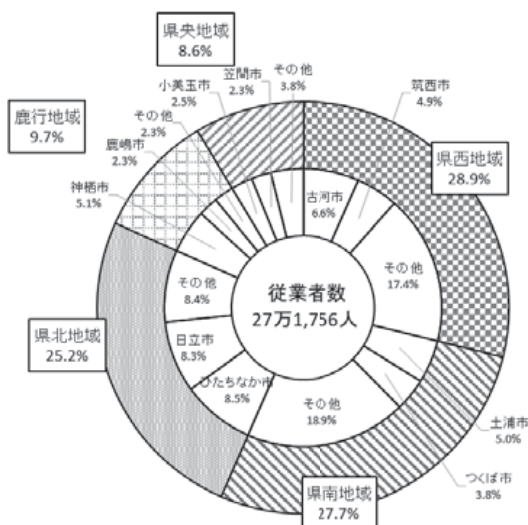
順位	茨城県	(事業所)
	茨城県	4,912
1	古河市	349
2	日立市	339
3	筑西市	279
4	常総市	233
5	水戸市	196

(3) 従業者数

本県の従業者数は、271,756人（対前年比△0.7%）で、全国順位は第7位でした。

地域別にみると、県西地域78,662人（対前年比△1.3%）、県南地域75,175人（対前年比△0.6%）、県北地域68,355人（対前年比0.0% ※対前年△2人）、鹿行地域26,242人（対前年比△0.7%）、県央地域23,322人（対前年比△1.5%）の順となっており、全ての地域で減少しています。

第3図 地域別従業者数構成比



市町村別では、ひたちなか市（23,185人）が最も多く、次いで日立市（22,541人）、古河市（17,918人）の順になっています。

◆従業者数の多い市町村

(人)

順位	茨城県	(人)
	茨城県	271,756
1	ひたちなか市	23,185
2	日立市	22,541
3	古河市	17,918
4	神栖市	13,757
5	土浦市	13,601

◎この調査結果は、本県ホームページ「いばらき統計情報ネットワーク」
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/koko/kogyo2020s/index.html>に掲載しています。
 ◎全国の調査結果は、経済産業省ホームページ
<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>に掲載されています。